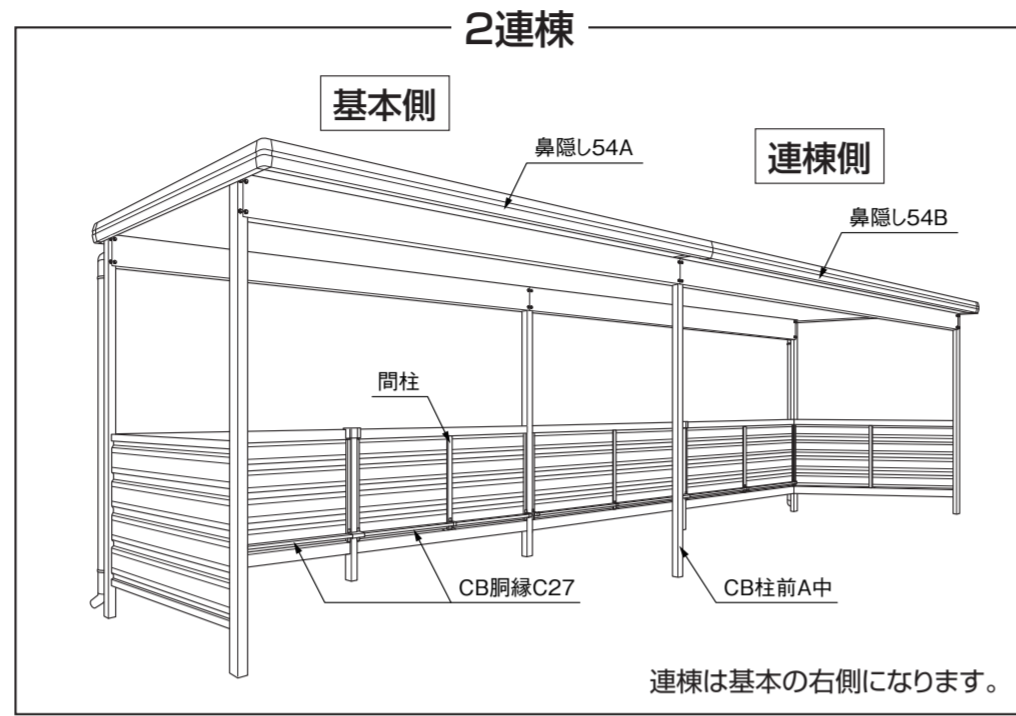
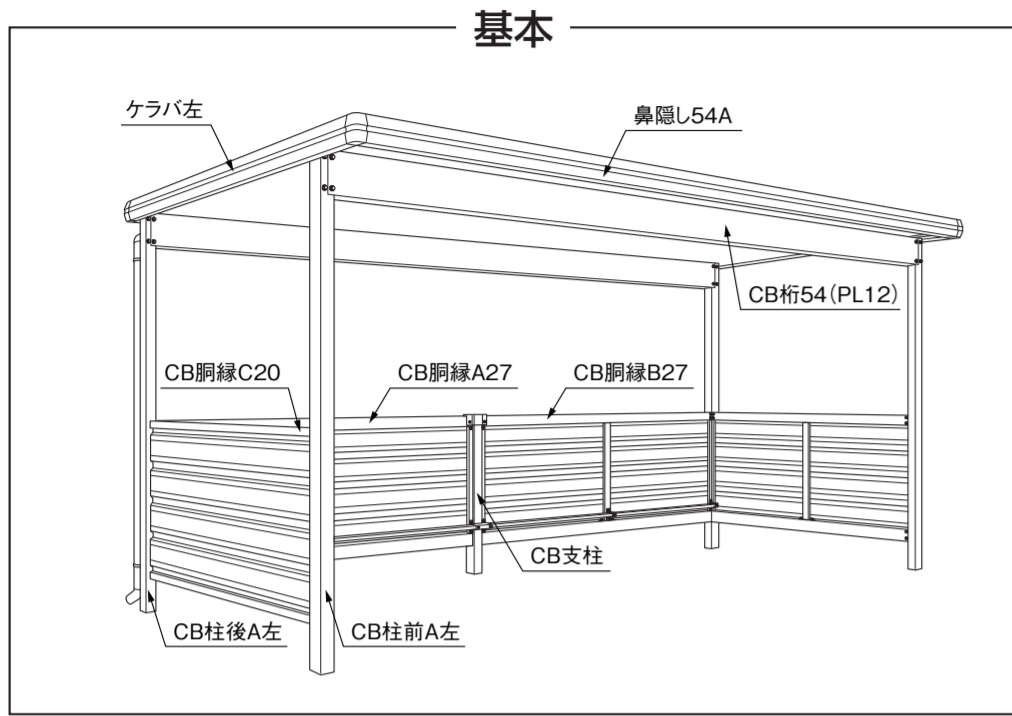


# LIXIL サイクルポートSP FP1型

# 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 取扱説明書・保証書は施主様にお渡しください。



### 設置場所の制限

**△注意**

- 建物の屋上には設置しないでください。
- 避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には、設置しないでください。
- 崖のふち・風当たりの強い場所等安全の確認のできない場所には、設置しないでください。
- 給湯器の前には設置しないでください。

### 組立施工の際には

**△注意**

- 転倒防止工事を必ず行ってください。
- 仮組み用のアンカーボルト(W1/2相当)又はオールアンカー(C12相当)は別途用意してください。

### お願い

- 組立の際には手袋を着用してください。
- 風の強い日・雨の日には、組立作業をさけてください。
- 高い足場が必要なときは、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- 組立後、各部のボルト・金具の忘れやゆるみがないか確認してください。

### 〈施工にあたって〉

- 1.まず、御注文通りの商品かどうかを確認してください。
- 2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔のあいている部材がありますので、説明書に従って組立してください。
- 3.部材は、すべて、鋼製ですので手を切らないようくれもご注意ください。  
**(安全のため必ず手袋を着用してください。)**
- 4.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
- 5.部材の組立では、ボルトの孔を合わせて組立てください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。
- 6.組立の際、部材に付いた傷は塗料で補修してください。

●ボルト、ネジは当社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締め付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。製品の強度低下、またはケガの原因になります。

- ※φ4ネジ：2.0N・m±0.2N・m      ※φ5ネジ：3.0N・m±0.2N・m
- ※M6ボルト：7.5N・m±0.2N・m      ※M8ボルト：10N・m±0.2N・m
- ※M10ボルト：12N・m±0.2N・m

### 梱包内容表

■柱	名称	基本左	基本右	連棟
CB 柱前 A 左 28	1			
CB 柱後 A 左 28	1			
CB 柱前 A 右 28		1		
CB 柱後 A 右 28		1		
CB 柱前 A 中 28				1
CB 柱後 A 中 28				1

■桁	名称	桁 A	桁 B
CB 桁 54	1		
CB 桁 54PL12			1

■屋根枠	名称	基本	連棟	側面
CB 鼻隠し 54・A	1			
CB 鼻隠し 54・B			1	
CB トイ 54・A	1			
CB トイ 54・B			1	
豎トイ	1	1		
CB ケラバ左(右)				各 1
CB 上枠左(右)				各 1

■屋根材	名称	1 枚入	2 枚入
CB 屋根 A26	1		2

■補修塗料	名称	員数
補修塗料		1

■タイトフレーム	名称	基本	連棟
端パネル受けフレーム BN	4		
端パネル受けフレーム A	4		6
パネル受けフレーム 88-I 型	16		16

■背面パネル柱	名称	員数
CB 支柱	1	
間柱 (KN) 背	2	
額縁 (KN) 右 (左)	各 2	

■背面パネル	名称	枠	パネル 2 枚入
CB 胴縁 A27	1		
CB 胴縁 B27	1		
CB 胴縁 C27	2		
CB 車止めパイプ 27	2		
CB 廻し縁 27	2		
CB 壁 27			2

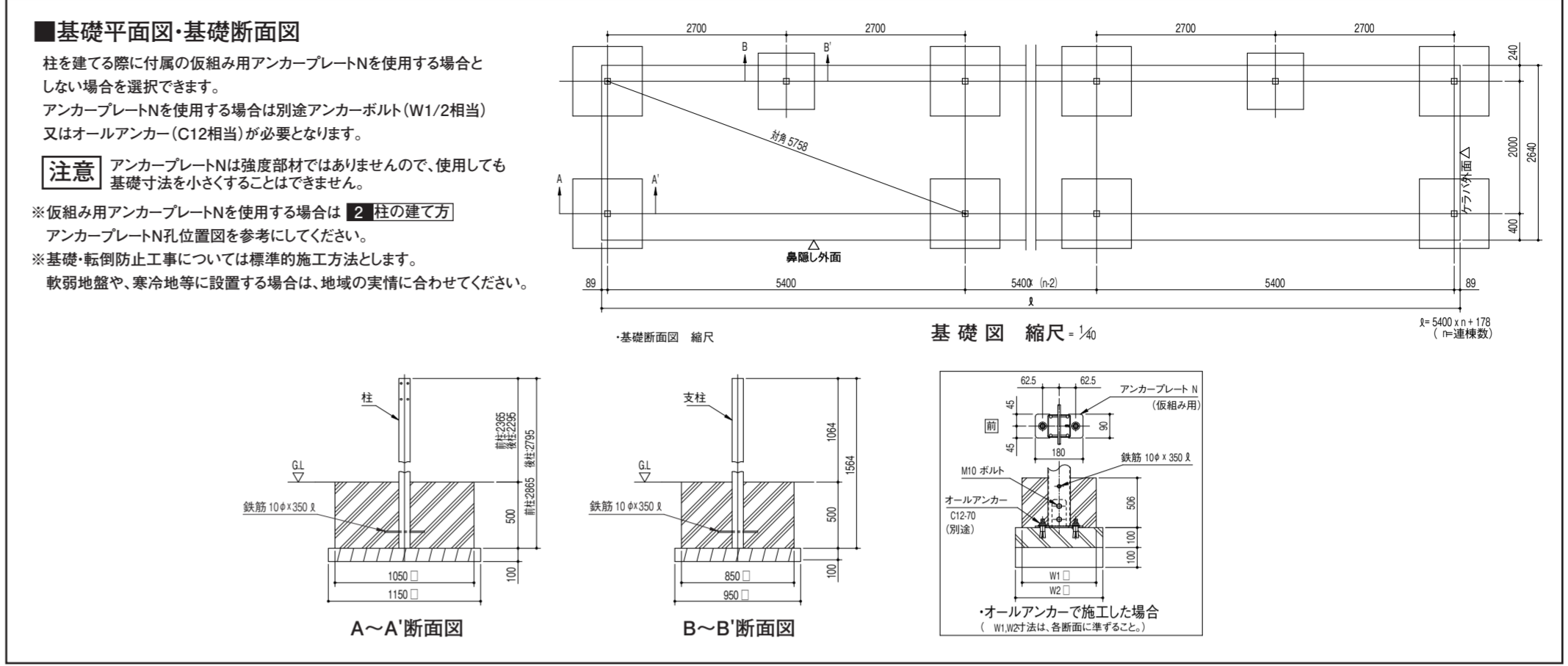
■側面パネル	名称	枠	パネル 2 枚入
CB 胴縁 C20	4		
間柱 (6)	2		
額縁 (6)	4		
CB 廻し縁 20	2		
CB 壁 20			2

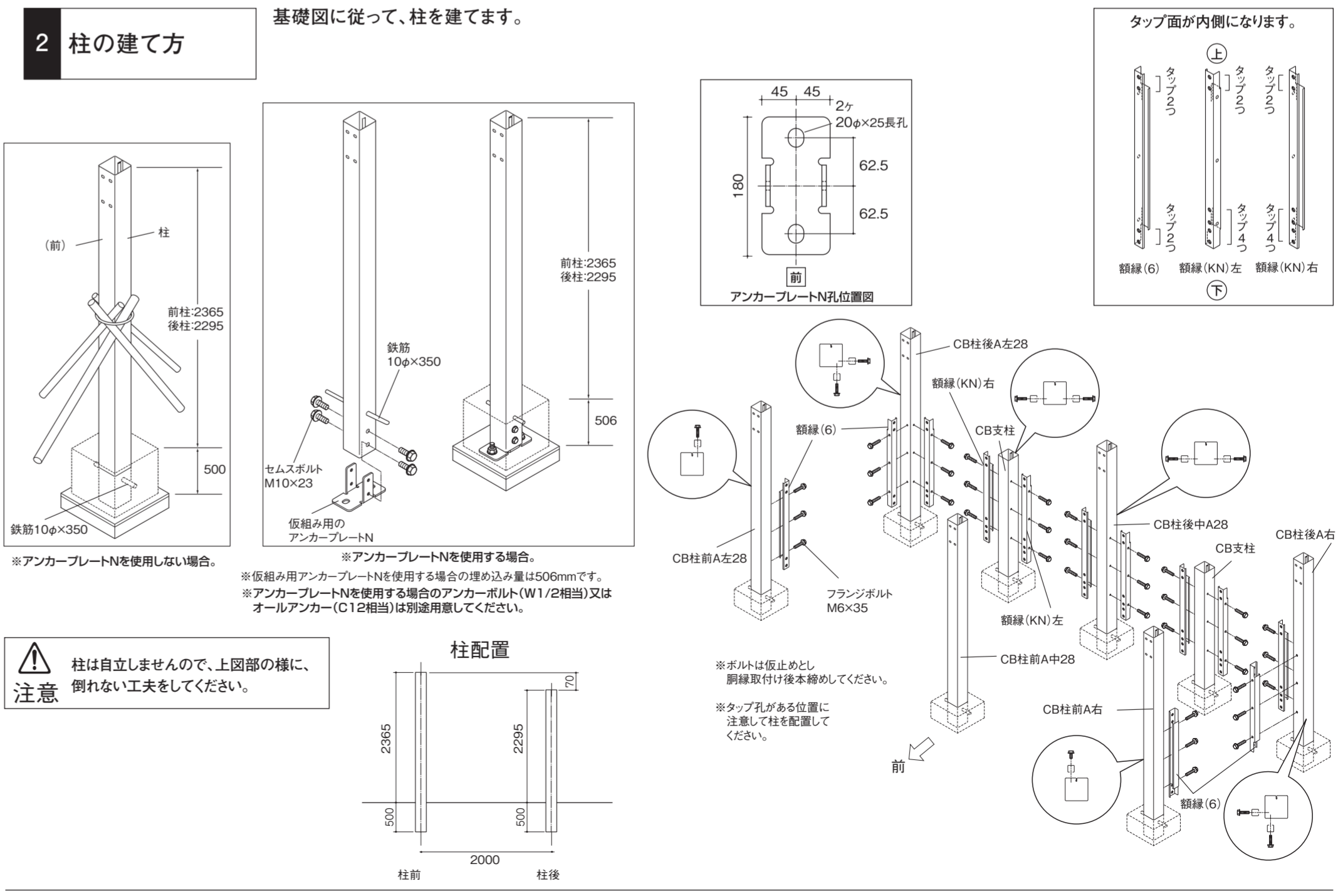
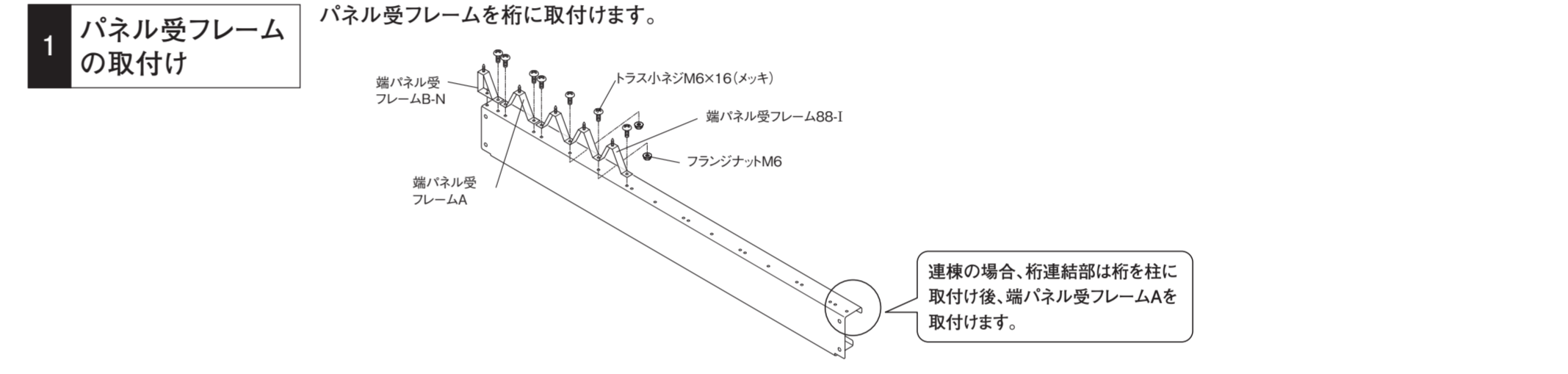
■部品	名称	基本	連棟
桁金具	4	2	
鼻隠しコーナ-樹脂	4	-	
鼻隠し補強金具	2	4	
鼻隠し接続金具	-	1	
トイ接続金具	-	1	
止水パッキン	2	-	
豎トイ支持金具	2	2	
φ 60 用アタッチメント	1	1	
CB φ 60 用孔塞ぎプレート	1	-	
パッキン	2	1	

■部品 (続き)	名称	基本	連棟
CB φ 60 丸挿エルボ (70°)	3	3	
接着剤	1	1	
アンカープレート N	5	3	
鉄筋 φ 10 × 350	5	3	
CB 支柱キャップ	1	1	
車止めブラケット (1)	4	2	
CB 車止めブラケット (4)	1	2	
取付説明書	1	-	
取扱説明書	1	-	
保証書	1	-	
M10 × 100 六角ボルト	17	8	
M10 六角袋ナット	17	8	
M10 平座金	34	17	
M10 × 23 六角ボルト (平座金付) (メッキ)	21	13	
M8 × 21 六角ボルト (平座金付)	8	8	
M8 フランジナット (メッキ)	8	8	
M6 × 45 フランジボルト	6	6	
M6 × 35 フランジボルト	25	13	
M6 × 16 六角ボルト (平座金付)	65	40	
M6 × 16 トラス小ネジ (メッキ)	84	80	
M6 × 16 トラス小ネジ	25	13	
M6 フランジナット (メッキ)	90	86	
M8 六角ナット 1 種 (メッキ)	59	57	
M8 山座金 (メッキ)	59	57	
M8 ウールパッキン	59	57	
φ 6 × 28 ルーフドリルネジ (座金・パッキン付)	34	29	
ルーフドリルネジ用キャップ	34	29	
φ 4 × 13 ナベドリルネジ	73	38	
φ 5 × 16 ナベ 1 種	4	2	
φ 5 × 16 ナベドリルネジ	2	2	

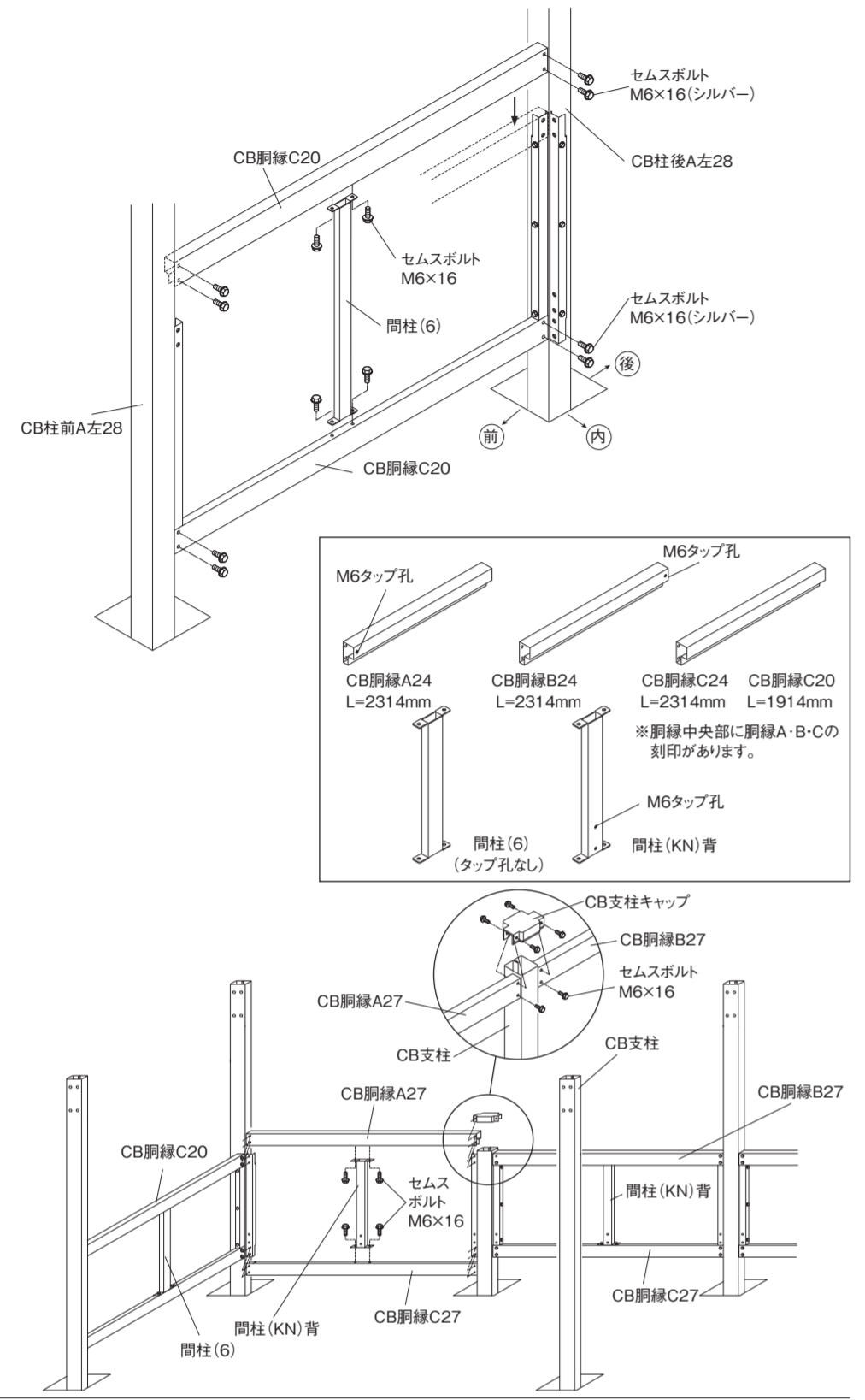


※桁・鼻隠し・トイ・ケラバには保護フィルムを貼付けています。必ずはがしてから組立を行ってください。



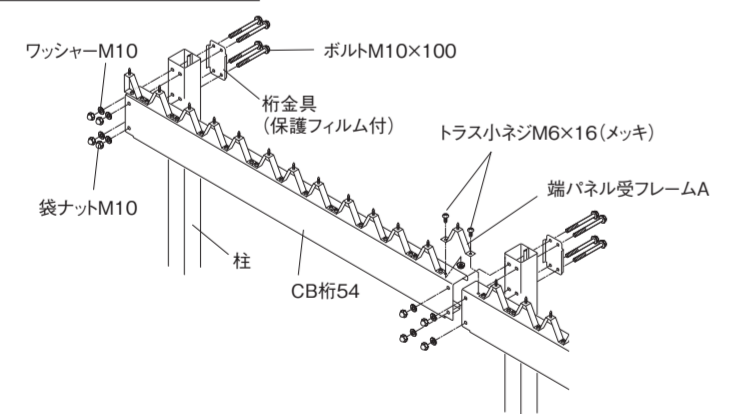
### 3 胴縁、間柱の取付

- ① 胴縁を額縁に取付けます。
  - ② 間柱を胴縁に取付けます。
- ※額縁、胴縁には種類があります。  
下記参照



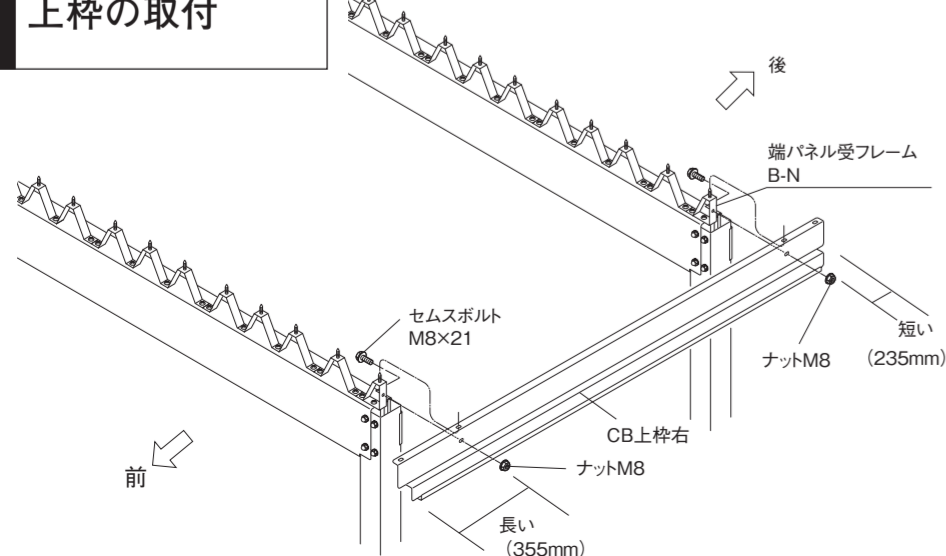
### 4 桁の取付

桁と桁金具を、柱に取付けます。  
連結部には、端パネル受フレームAを取付けます。



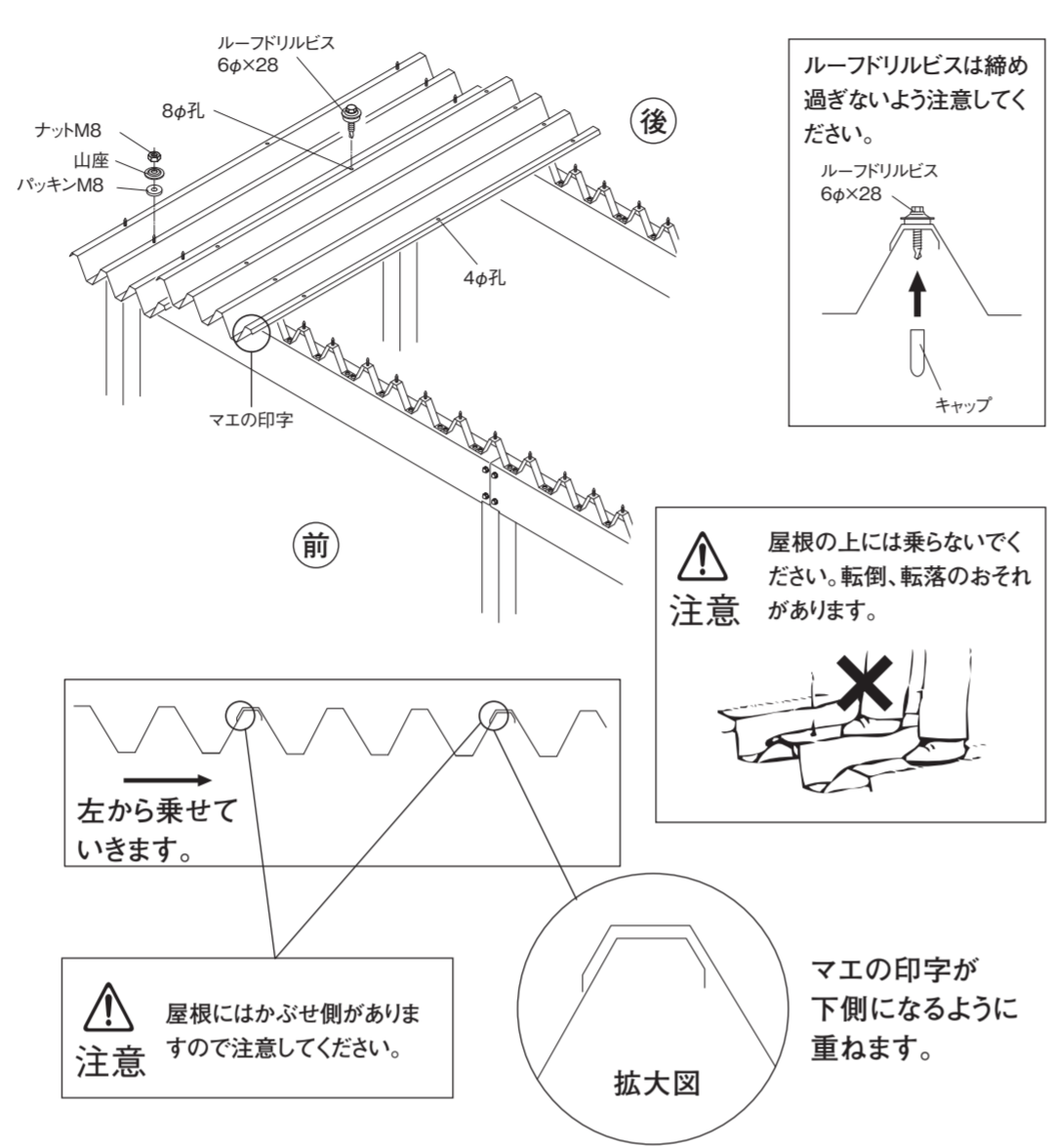
### 5 上枠の取付

上枠を端パネル受フレームB-Nに取付けます。



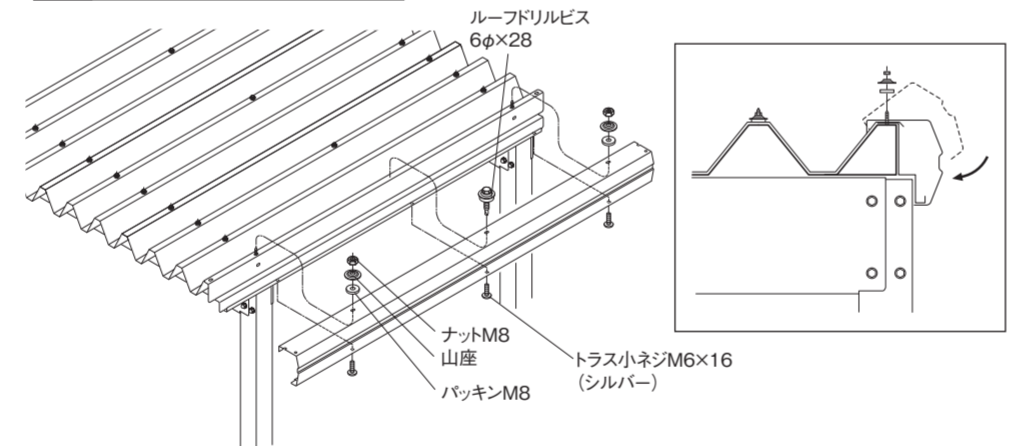
### 6 屋根の取付け

屋根を左から乗せていき、ナットで固定します。  
屋根の重ね部にルーフトドリルビスを打ち込み、  
下からキャップをかぶせます。ルーフトドリルビスは  
桁間でガイド孔(4φ、8φ孔)があるところに取付けます。  
鉄粉は必ず除去してください。  
(サビの原因になります)  
屋根の前後を確認し取付けてください。



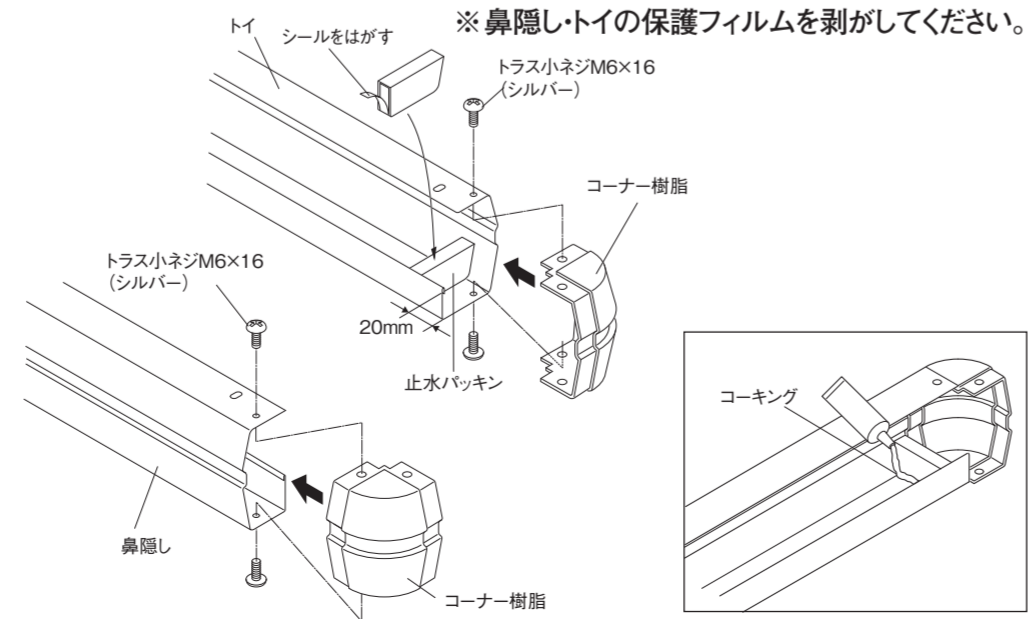
### 7 ケラバの取付け

ケラバを図の様に上枠にかぶせる様、取付けます。  
※ケラバの保護フィルムを剥がしてください。



### 8 コーナー樹脂、止水パッキンの取付け

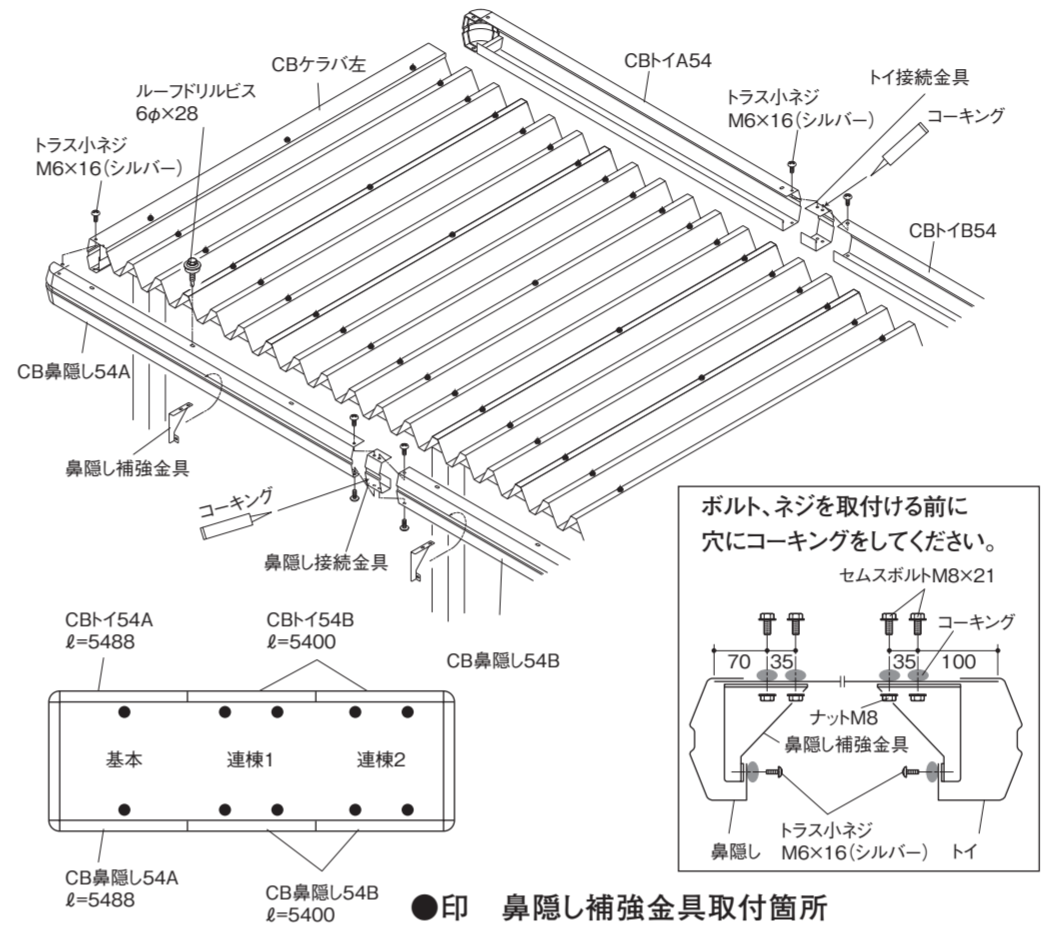
コーナー樹脂を鼻隠し、トイのコーナー部に取付けます。止水パッキンをトイの両端に貼り、  
内側からコーキングを施します。  
※鼻隠し、トイの配置は9 鼻隠し、トイの取付けを参照してください。  
※鼻隠しトイの保護フィルムを剥がしてください。



### 9 鼻隠し、トイの取付け

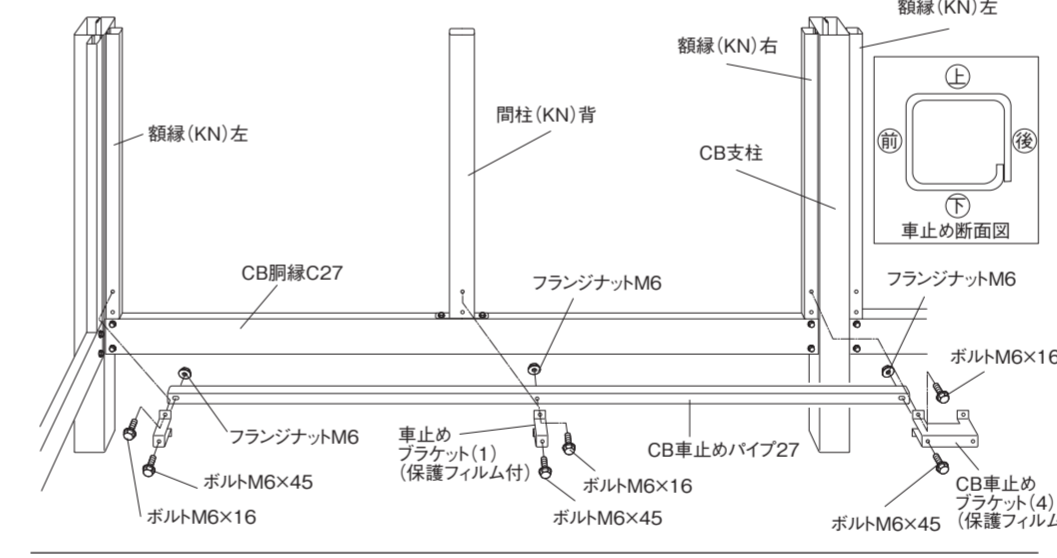
- ① 鼻隠し、トイをケラバ、鼻隠し接続金具、トイ接続金具に取付けます。接続金具部にはコーキングを施してください。
- ② 鼻隠し、トイ、鼻隠し補強金具を取付けます。
- ③ 屋根には、鼻隠し補強金具の孔に合わせて、10φの孔加工をしてください。(下図参照)
- ④ 鼻隠し、トイをルーフトドリルビスで屋根に固定してからキャップをかぶせます。鉄粉は必ず除去してください。(サビの原因になります)

※連結の場合、必ず正面から見て左にCB鼻隠し54A(CBT-I54A)を取付けてください。

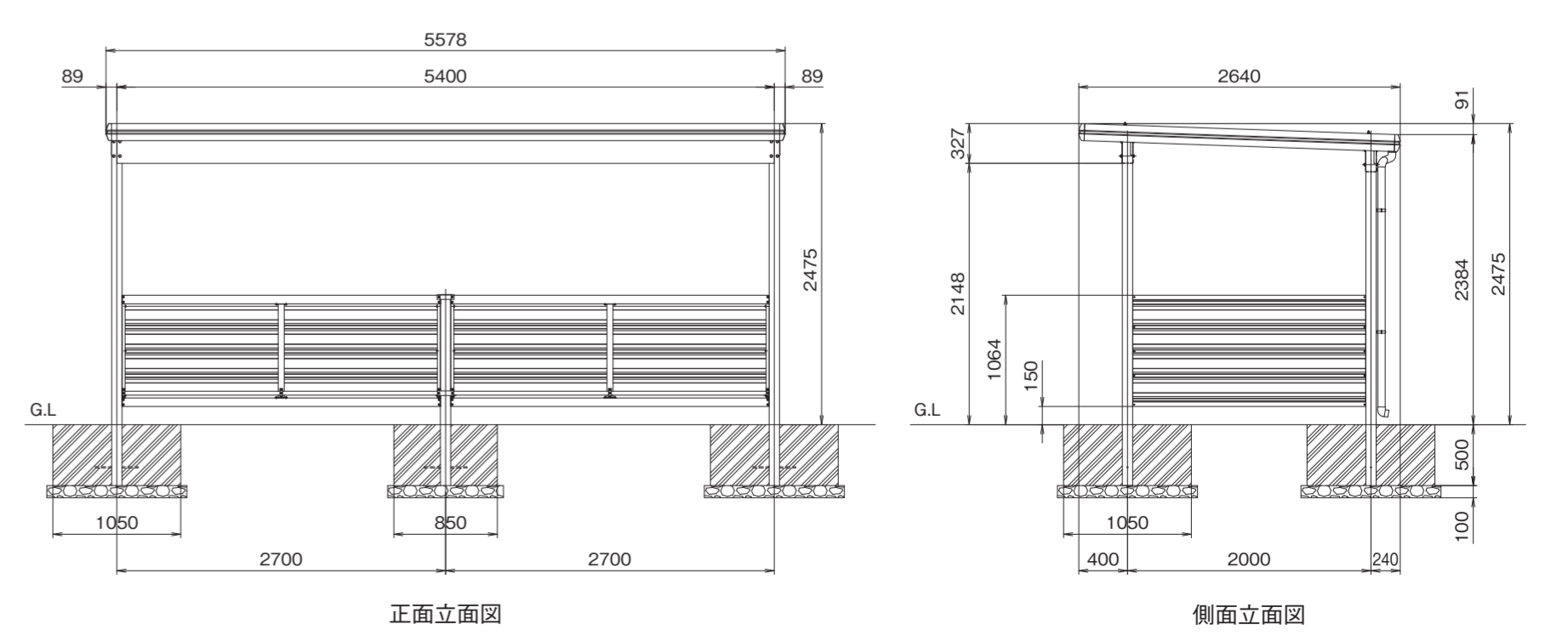


### 10 車止めパイプの取付け

- ① ブラケットを車止めパイプに取付けます。
- ② 車止めパイプを額縁(KN)左(右)、間柱(KN)背に取付けます。

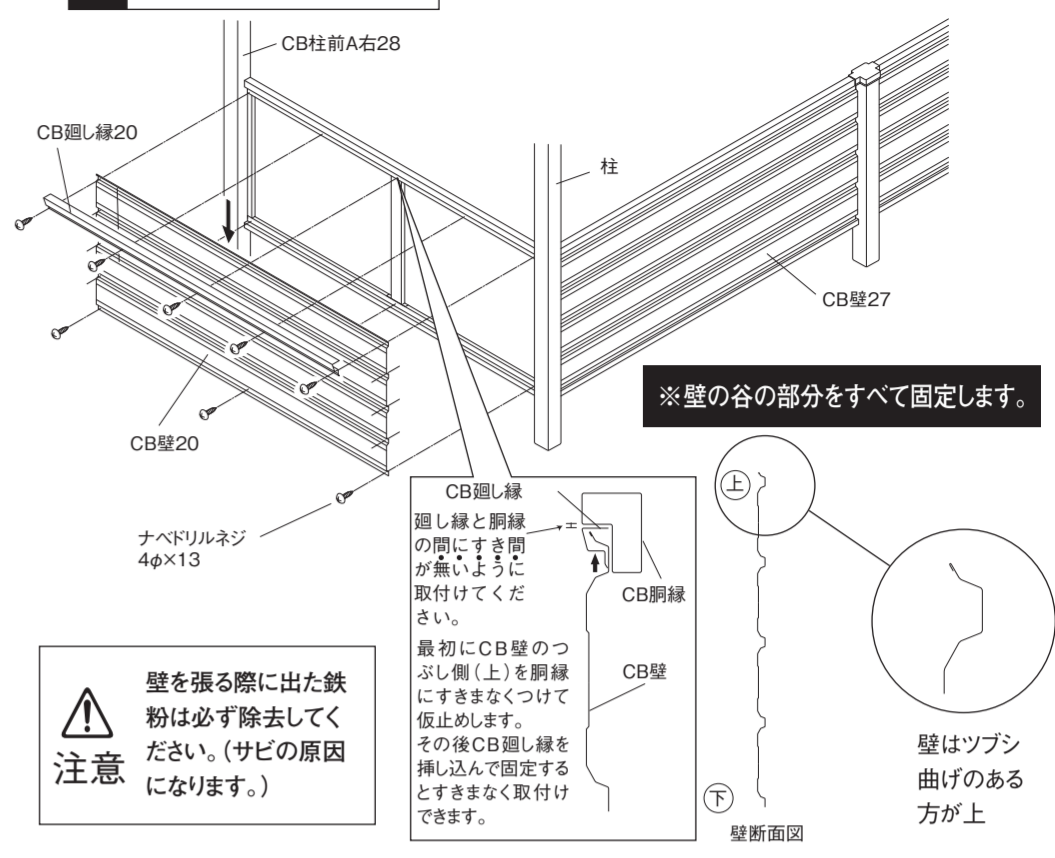


### 基本寸法図



### 11 壁の取付け

壁を外側から張り付け、廻し線と一緒にテック  
スで胴縁・額縁・間柱に固定します。



### 12 壁トイの取付け

図の様に壁トイを取付けます。  
部材の接合部には接着剤を塗布してください。  
アタッチメント、孔塞ぎプレート取付け穴に  
コーキングしてからネジ止めてください。  
※パッキンはシールをはがしてください。

